

資料No.6

鯖江市地域公共交通活性化協議会 報告資料

一般社団法人 地域公共交通鯖江
2024年6月17日

報告項目

1. 利用実績について(令和5年4月1日～令和6年3月31日)
2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移
3. 課題の整理
4. 総括と所感

1.利用実績について(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

利用実績

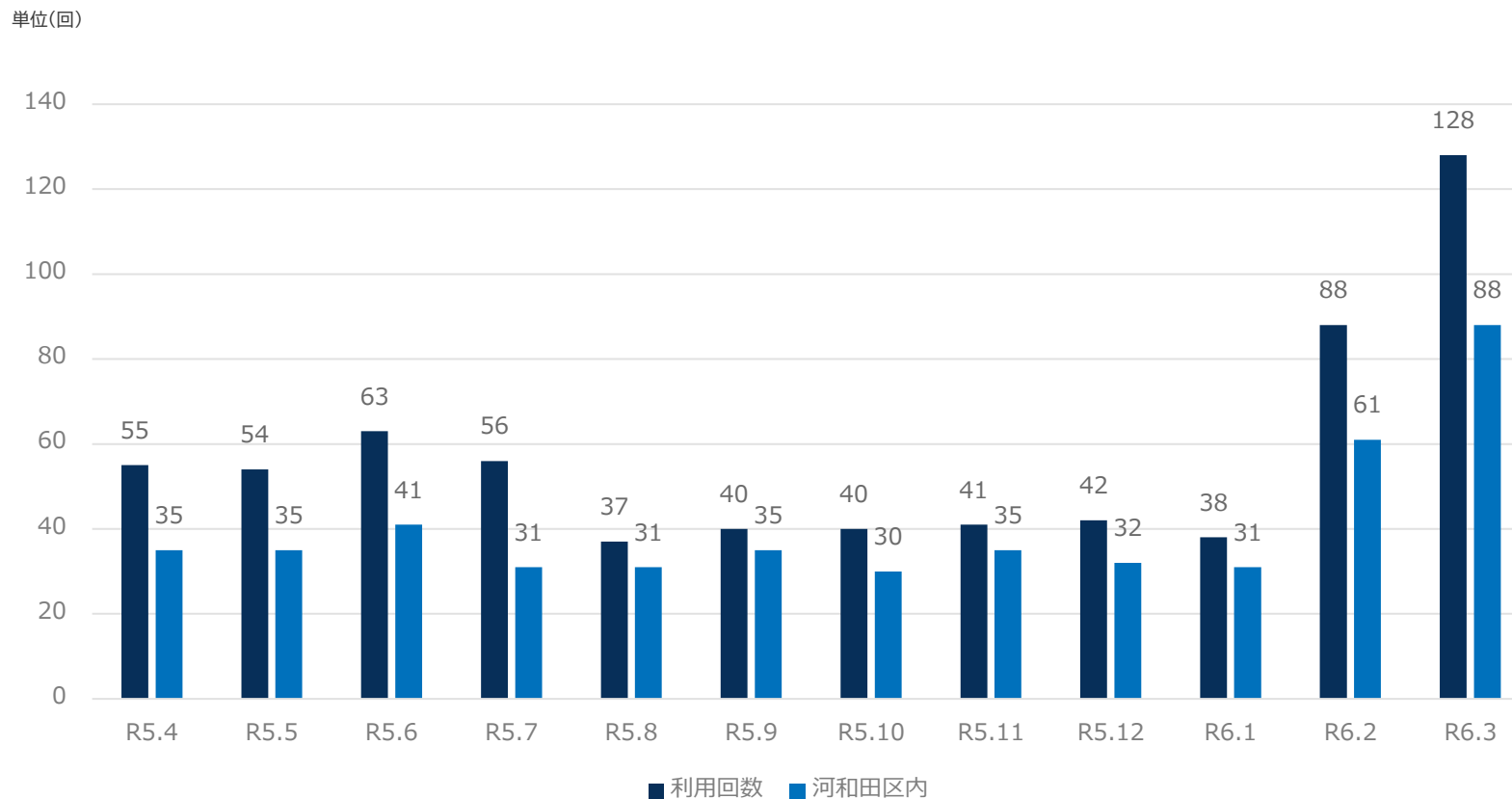
期間	令和5年5月31日	令和6年3月31日
利用登録者	200名	213名
ドライバー	6名	4名

運行比較

	令和4年度	令和5年度
運行回数	342回	680回
河和田内運行	225回 (65.8%)	485回 (71.3%)
利用目的	通院・ワクチン接種 154回 買い物・娯楽・美容院・郵便局 151回 その他 37回	通院・ワクチン接種 238回 買い物・娯楽・美容院・郵便局 389回 その他 53回

2. 令和5年4月から令和6年3月までの各数値の推移

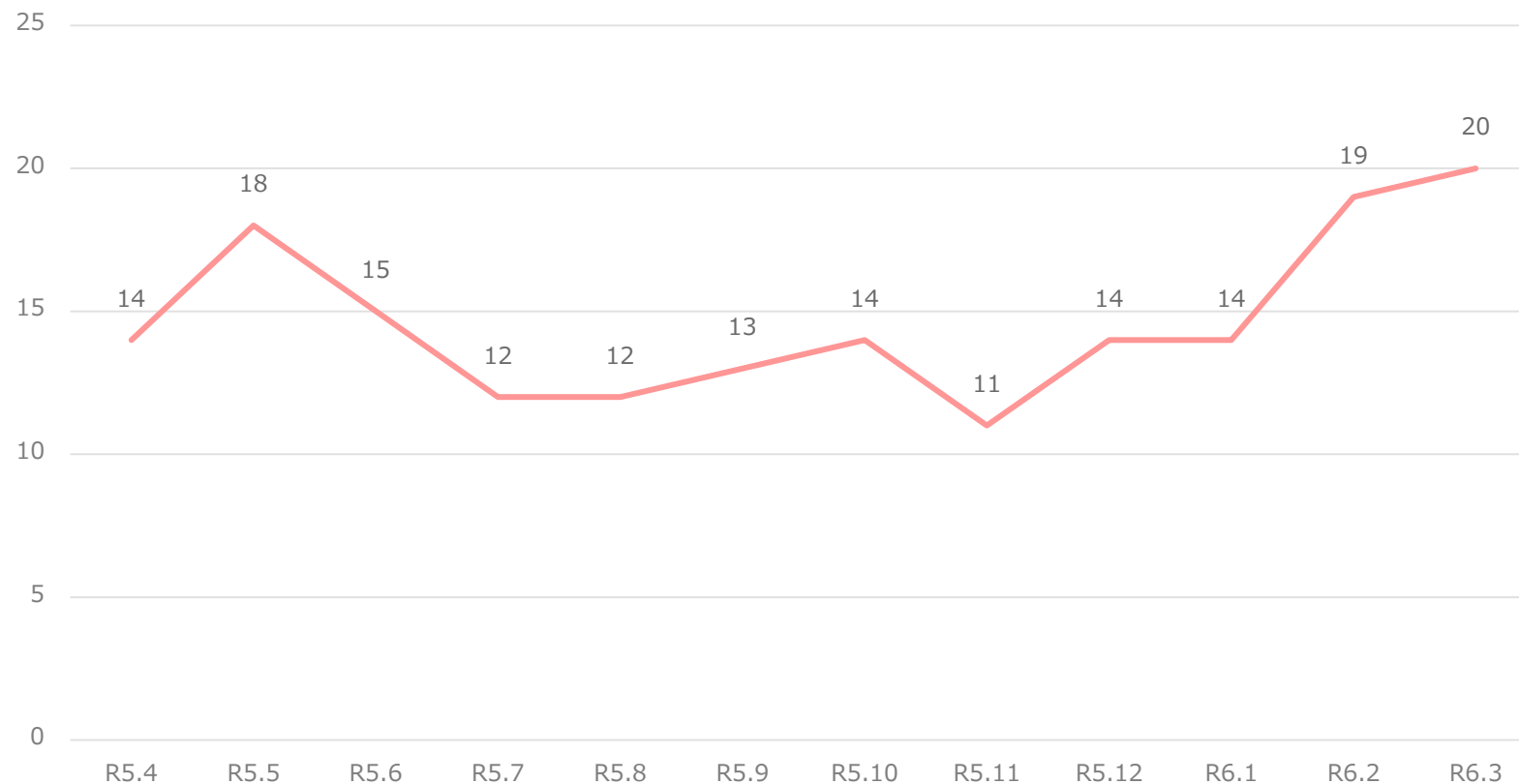
利用回数と河和田地区内の利用



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

利用人数

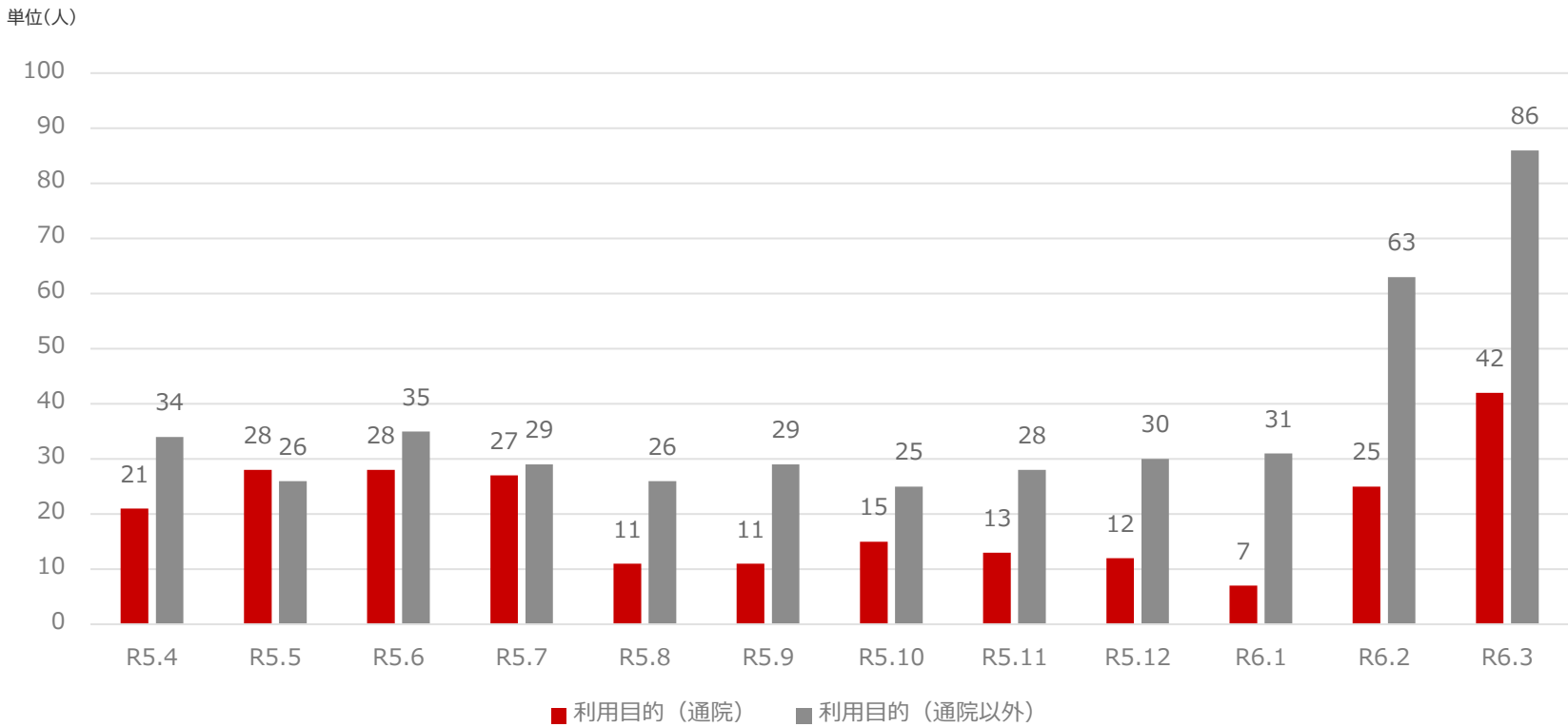
単位(人)



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

利用目的

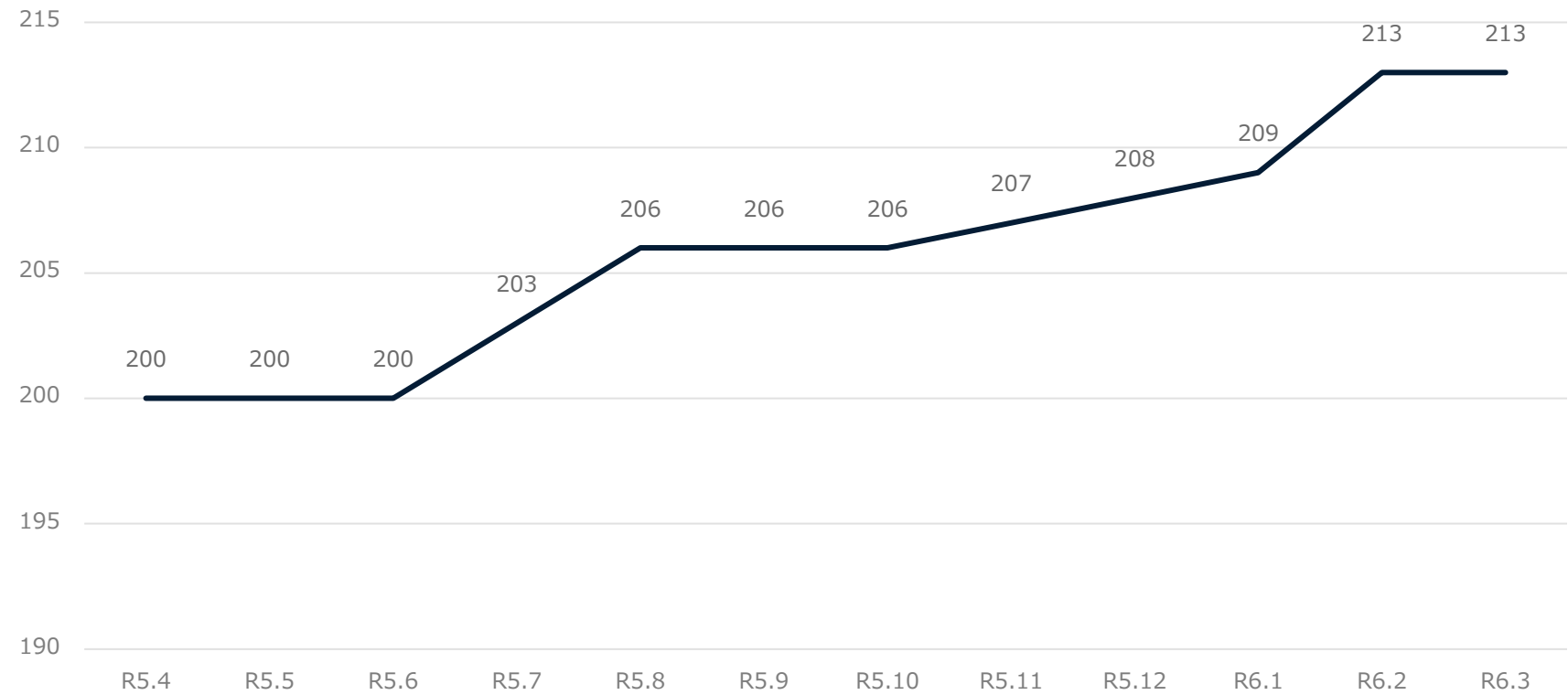
病院関係（通院,ワクチン接種）とそれ以外（買い物,美容院,郵便局,公民館活動,娯楽,他）



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

利用者登録人数

単位(人)



2.利用者の声

全体を通して利用者からはこのような声を頂いております

- ・ドライバーさんが自分の事をしっかり覚えていてくれていて安心できる
- ・買い物の時などに重い物を持ってあるくのに玄関先まで乗せてくれるので助かる
- ・オペレーターの林さんが丁寧に説明してくれるのが有難い

3.課題の整理

大項目	中項目	解決案
利用人数をどう増やすか	既存利用者にしっかり利用してもらう	既存利用者に対して利用をしてもらえるように呼び掛けることで乗ったことがない方に訴求していく。
	利用者の層を広げる	高齢者利用以外の層の取り込み (障害者施設からの問合せに対応しています)
鯖江市の交通において毛細血管的な役割をどう担えるか	つつじバスとの連携	河和田地区外への移動に際して、つつじバス停留所までをちょいボラ交通、そこから地区外へはつつじバスを利用して頂く事によって利用者コストも圧縮でき、それが行き渡ればつつじバスの河和田便も大動脈的役割になりパフォーマンスが良くなる と考えます 利用者が利用イメージを持てるような広報活動が必要です

4.総括と所感

令和3年5月6日から鯖江市河和田地区を発着点とした鯖江市内で自家用有償旅客運送の運行開始をして、法令遵守の上、安全運行の徹底や利用者ニーズの吸い上げ等、多くの課題をひとつづつクリアしながら現在に至ります。

「ちょいボラ交通」についての周知を進める為に、ポスターの設置や市民活動に出席して利用案内等、地道な周知活動を行ってきた結果、利用登録者は200名を超えております。

コロナ禍からは脱却してきましたが、コロナ禍以前のアクティブな雰囲気は完全に戻ってきていないように感じますが以前よりは公民館活動などに動きはでてきているようです。

世間ではライドシェアという言葉が市民権を得ており、いち早く取り組んでいる「ちょいボラ交通」は注目を浴びていく可能性もあります。

先日、河和田地区にある障害者施設から学童の送迎をしてもらえると大変助かるという相談を受け、早速対応をしております。

特別な利用だけではなく、ちょいボラ交通が担っている役割として「生活圏での移動手段となり、利用者の生活満足度を高め、社会的な課題を解決する」を体現するために、草の根的な活動をして参ります。